

8,000人のカンボジアの子供達へ 日本脳炎ワクチンを無料接種

上場俊哉 (高槻東RC)

カンボジアの子供達を重篤な後遺症もしくは死に至らしめる日本脳炎から救おうと計画し始め、1年10ヶ月目にして、2011年12月9日カンボジア赤十字社シェムリアップ支社で無料予防接種の開始と記念式典に参加することが出来ました。このプロジェクトは高槻RC、高槻東RC、高槻西RC、大阪フレンドRCと世界遺産であるアンコールワット遺跡近くのアンコールRCとのMGで、日本脳炎が蔓延するカンボジアでこの病気自体が国民に認知されていない状況下、保健省の協力のもと8,000人の子供達に無料接種を行うもので、初年度は総額\$48,000となり、3年間の継続プロジェクトとして計画しております。

ポリオ以外のワクチンをプロジェクト化する実績がない中、カンボジア保健省、薬事局、国立免疫センター等政府関係との折衝には細心の注意と慎重な対応が必要でした。又、カンボジアにはRCが4クラブしか存在せず、各クラブともMGの上限である5個のプロジェクトを抱え、世界中からプロジェクトの提案が集まっており、選り取りの環境にあります。こういった状況の中、アンコールRCへの説得交渉に成功し積極的な協力を得ることになりました。が、そこで新しい困難にぶつかりました。前年までのMGの最終報告書が提出されておらずクローズされていないため、新しいプロジェクトが開始できない状況にある事が判明し、諦めきれない我々は未完成の最終レポートの手伝いをする事にしました。相手クラブが無関心であったり、担当者が退会していたり、MGそのものについて互いの知識のなさもあいまってロータリー財団や日本事務局の指導を受けながら何とか完成させ、そのひとつの枠に本プロジェクトを滑り込ませることができました。



カンボジアに4回渡航し大変な苦勞もありましたが、しっかりと信頼関係をアンコールRCとシェムリアップ保健局と築けたことは、大変ありがたいことであります。このプロジェクトは今スタートしたばかりですが、私の中では既にかげがえのない思い出、困難を乗り越えるパワーをもらった出来事の一つになりました。ご協力いただいた医療関係者及び全ての方々に深く感謝します。

